

授 業 目 名	言語発達障害学Ⅱ(脳性麻痺・学習障害含む)	授 業 形 態	講 義
		配 当 学 期	2 年(前期)
担 当 教 員 名	上村 朋久・西口 寛泰	単 位 数	1 単 位
		時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕 学習のテーマは、言語発達への影響が考えられる発達障害である。近年「発達障害」ということばは知られるようになってきつつある。授業では、その障害のもつ特性や困難さを理解していく。</p> <p>〔学習目標〕 子どもたちを支援していくために、障害特性を正しく理解し、特性に応じた支援が提供できるようになることが授業の目標である。</p>		
授 業 回 数	授 業 の 内 容		
第 1 回	自閉症スペクトラム復習		
第 2 回	DSM-5 診断について		
第 3 回	各障害の障害特性について「精神遅滞」		
第 4 回	各障害の障害特性について「学習障害」		
第 5 回	各障害の障害特性について「注意欠陥・多動性障害」		
第 6 回	各障害の障害特性について「コミュニケーション障害」		
第 7 回	言語発達障害の評価		
第 8 回	言語発達障害の評価		
第 9 回	言語発達障害の診断		
第 10 回	前言語期の言語発達		
第 11 回	語彙獲得期の言語発達		
第 12 回	幼児期の言語発達		
第 13 回	支援・訓練について(1)		
第 14 回	支援・訓練について(2)		
第 15 回	支援・訓練について(3)		
評 価 方 法	定期試験による(100%)		
教 科 書 参 考 図 書	〔教科書〕 標準言語聴覚障害学 言語発達障害学(医学書院) 配布資料		
履 修 上 の 留 意 点	遅刻、欠席は正当な理由がある場合を除いて、原則認めない。		
メ ッ セ ー ジ	言語聴覚士に対する社会的ニーズは多様化しており、今後教育や福祉分野への参入が期待されます。子ども 1 人 1 人に対してより良い支援が提供できるように勉強していきましょう。		